



# Release

フランクフルト・アム・マイン

2016年1月28日

## ドイツ銀行、2015年第4四半期に21億ユーロの純損失、通年では68億ユーロの純損失を計上

### グループ業績概要

特に表示がない限り 単位:十億ユーロ	2015年 第4四半期	増減 (2014年第4四半期比)	2015年通年	増減 (2014年通年比)
純収益	6.6	(15)%	33.5	5%
利息以外の費用	9.0	24%	38.7	40%
税引前利益(損失)	(2.7)	N/M**	(6.1)	N/M**
純利益(損失)	(2.1)	N/M**	(6.8)	N/M**
有形株主資本利益率(税引後)	(15.7)%	N/M**	(12.3)%	N/M**
普通株式等 Tier1 資本比率(完全適用ベース)	11.1%	(40)bps*	11.1%	(60)bps
レバレッジ・エクスポージャー	1,395	(2)%*	1,395	(3)%
レバレッジ比率	3.5%	(10)bps*	3.5%	—
RWA	397	(3)%*	397	1%

\* 所要自己資本規制/所要自己資本指令第4次改正 (CRR/CRD4) 完全適用ベース(2015年第3四半期比)

\*\* 意味のある比較不能

### 中核事業部門の収益

単位:十億ユーロ	2015年 第4四半期	2014年 第4四半期	2015年通年	2014年通年
コーポレート・バンキング・アンド・セキュリティーズ	2.1	3.0	14.2	13.6
個人顧客および中堅企業	2.2	2.4	8.9*	9.6
グローバル・トランザクション・バンキング	1.2	1.0	4.6	4.1
ドイチェ・アセット&ウェルス・マネジメント	1.4	1.2	5.4	4.7

\* 華夏銀行に対して当行が保有する持分に係る7億ユーロの減損処理後

### 重要項目

単位:十億ユーロ	2015年 第4四半期	2014年 第4四半期	2015年通年	2014年通年
のれん/無形資産の減損	0.0	0.1	5.8	0.1
訴訟費用	1.2	0.5	5.2	2.0
再編および退職費用	0.8	0.1	1.0	0.4

ドイツ銀行共同CEOのジョン・クライアンは、このように述べています。「2015年、当行はストラテジーの実施において大きく進展しましたが、下半期において行った必要性の高い決断により、2015年第4四半期および通年においては純損失を計上することとなりました。」

さらに、次のように述べています。「当行は2016年においても、総力をあげて当行が抱える過去の問題点の解決に向け引き続き邁進する所存であり、事業再編への取組みおよび事業基盤への投資は、2016年も継続していきます。」

そして次のように結んでいます。「事業再編の間中は困難を伴うことがありますが、当行が引き続き規律ある方法でストラテジーを実施していくことにより、ドイツ銀行はより強固で効率的な、よりよい経営の銀行に生まれ変わることができること、そして生まれ変わるであろうことを確信しています。」

## グループ業績

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2015年 第4四半期	2014年 第4四半期	増減	2015年通年	2014年通年	増減
純収益	6,642	7,832	(1,190)	33,525	31,949	1,576
信用リスク引当金繰入額	380	369	11	956	1,134	(178)
利息以外の費用	8,967	7,211	1,755	38,667	27,699	10,968
税引前利益(損失)	(2,704)	253	(2,957)	(6,097)	3,116	(9,213)
純利益(損失)	(2,125)	441	(2,567)	(6,772)	1,691	(8,463)
RWA(単位:十億ユーロ)	397	394	3	397	394	3
1株当たり有形純資産(単位:ユーロ)	37.90	38.53	(0.63)	37.90	38.53	(0.63)

## 利息以外の費用

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2015年 第4四半期	2015年 第3四半期	2015年 第2四半期	2015年 第1四半期	2014年 第4四半期	2014年 第3四半期	2014年 第2四半期	2014年 第1四半期	2015年通年	2014年通年
調整済コスト	6,811	6,210	6,516	6,914	6,380	6,248	6,045	6,280	26,451	24,953
利息以外の費用	8,967	13,224	7,798	8,678	7,211	7,328	6,693	6,466	38,667	27,699
内:										
のれん/無形資産の減損	6	5,770	0	0	111	0	0	0	5,776	111
訴訟費用	1,238	1,209	1,227	1,544	538	932	501	0	5,218	1,971
保険業務に係る費用	122	(29)	10	153	80	77	80	52	256	289
再編および退職費用	790	63	45	67	103	71	67	134	965	375
費用/収益比率	135%	180%	85%	84%	92%	93%	85%	77%	115%	87%
報酬比率	47%	45%	38%	33%	38%	41%	38%	40%	40%	39%

注記: 数字は四捨五入をしているため、必ずしも合計金額と一致するものではありません。

## 解説

2015年第4四半期の**グループ全体の純収益**は、前年同四半期から15%減少し、66億ユーロとなりました。これは主に、コーポレート・バンキング・アンド・セキュリティーズ (CB&S) の収益が前年同四半期に比べ減少したこと、および非中核事業部門 (NCOU) の時価評価損を反映したものです。

2015年通年の**グループ全体の純収益**は、2014年から5%増加し、335億ユーロとなりました。グループ全体の純収益は、為替レート変動の影響を除いたベースでも微増となりましたが、これには中国の華夏銀行の当行持ち分の売却に係る7億ユーロの影響 (華夏銀行の発行済株式の19.99%に相当する当行持ち分の減損およびその他の当該取引関連の影響を含む) は加味されていません。

2015年第4四半期の**グループ全体の利息以外の費用**は、前年同四半期から24%増加し、90億ユーロとなりました。これには、主に個人顧客および中堅企業 (PBC) における8億ユーロの再編および退職費用ならびに12億ユーロの訴訟関連費用が含まれています。2015年第4四半期の調整済コスト (訴訟関連費用、減損、保険業務に係る費用、再編および退職費用を除く) は、2014年第4四半期の64億ユーロから増加して68億ユーロとなり、為替レート変動の影響を除いたベースでも前年同四半期の67億ユーロからの微増となりました。

2015年通年の**グループ全体の利息以外の費用**は、2014年の277億ユーロから増加し、387億ユーロとなりました。これには、のれんおよびその他の無形資産の減損58億ユーロ、訴訟関連費用52億ユーロ (2014年: 20億ユーロ) ならびに再編および退職費用10億ユーロ (2014年: 4億ユーロ) が含まれています。2015年通年のこれらの特定費用項目の合計は、120億ユーロとなりました。2015年通年の調整済コストは265億ユーロとなり、2014年からわずかに増加しましたが、為替レート変動の

影響を除いたベースでは微減となりました。これは、資産の処分やその他のコスト削減によるNCOUにおける費用の減少が、規制要件に係る費用を相殺したことを反映するものです。

## 自己資本およびレバレッジに関する事項

特に表示がない限り 単位:十億ユーロ	2015年12月31日	2015年9月30日	2014年12月31日
普通株式等 Tier 1 資本比率 <sup>1)</sup>	11.1%	11.5%	11.7%
リスク・ウェイトド・アセット <sup>1)</sup>	397	408	394
資産合計(IFRS)	1,626	1,719	1,709
CRD 4 レバレッジ・エクスポージャー <sup>2)</sup>	1,395	1,420	1,445
レバレッジ比率 <sup>3)</sup>	3.5%	3.6%	3.5%

1) CRR/CRD4 完全適用ベース

2) CRR/CRD4 規制に基づく。

3) CRR/CRD4 完全適用ベース Tier 1 資本および CRR/CRD4 規制によるレバレッジ・エクスポージャーに基づく。

## 解説

当行の2015年12月31日現在の**普通株式等Tier 1 (CET1) 資本比率**は、2015年9月30日現在の11.5%から低下し、11.1%となりました。この減少は主に2015年第4四半期の純損失を反映したものです。華夏銀行の発行済株式の19.99%に相当する当行持ち分売却の影響を勘案したベースでは、当行の2015年12月31日現在のCET1資本比率（CRR/CRD4完全適用ベース）を、試算ベースで約50から60ベースポイント押し上げることになります。

**CRD4レバレッジ比率**は、2015年第4四半期に、当該四半期の損失を反映して3.6%から3.5%に低下しました。当行が華夏銀行に対して保有する前述の持ち分売却の影響を勘案したベースでは、当行の2015年12月31日現在のCRD4レバレッジ比率を、試算ベースで約10ベースポイント押し上げるようになります。

2015年12月31日現在の**リスク・ウェイトド・アセット (RWA)**は、2015年9月30日現在から110億ユーロ減少し、3,970億ユーロとなりました。その主な要因は、マーケット・リスク、信用リスクおよび信用評価調整の減少でしたが、これらが2015年第4四半期におけるオペレーショナル・リスクRWAの増加および為替レートの変動の影響を上回りました。これらの減少は、主にCB&SおよびNCOUにおいて発生しました。

## 部門別業績

### コーポレート・バンキング・アンド・セキュリティーズ (CB&S)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2015年 第4四半期	2014年 第4四半期	増減	2015年通年	2014年通年	増減
純収益	2,079	2,961	(882)	14,219	13,629	589
信用リスク引当金繰入額	115	9	106	265	103	162
利息以外の費用	3,117	2,627	490	15,963	10,593	5,371
非支配持分	1	2	(1)	26	25	0
税引前利益(損失)	(1,153)	323	(1,476)	(2,035)	2,909	(4,944)
RWA(単位:十億ユーロ)	195	176	20	195	176	20

## 解説

2015年第4四半期の**CB&Sの純収益**は、債券およびその他商品のセールス／トレーディングの評価調整、厳しい市場環境および顧客取引の減少を受けて、前年同四半期から30%減少し、21億ユーロとなりました。2015年第4四半期の**債券およびその他商品のセールス／トレーディング**の収益は、前年同四半期から16%減少し、9億4,700万ユーロとなりました。信用評価調整（CVA）／債務評価調整（DVA）／調達評価調整（FVA）の影響を除くと、債券およびその他商品のセールス／トレーディングの収益の前年同四半期からの減少は6%でした。金利およびエマージング・マーケット・デットのトレーディングにおける堅調な収益が、クレジット・ソリューションおよび住宅ローン担保債券（RMBS）における減収により相殺されており、当行はエージェンシー住宅ローン担保債券（RMBS）事業から撤退する予定です。**株式セールス／トレーディング**の収益は、前年同四半期から28%減少しました。この減少は、現物株式および株式デリバティブからの減収を要因とするものですが、その一部はプライム・ファイナンスからの増収により相殺されました。**オリジネーションとアドバイザー**の収益は、前年同四半期から43%減少しました。この減少は、一部の分野における市場取引の減少と市場シェアの低下によるものです。

2015年通年の純収益は、2014年から4%増加し、142億ユーロとなりました。

2015年第4四半期の**CB&Sの利息以外の費用**は、前年同四半期から19%増加し、31億ユーロとなりました。この増加は、増加した訴訟費用（3億3,500万ユーロ）、規制関連支出および為替レートの変動を要因とするものです。

## 個人顧客および中堅企業（PBC）

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2015年 第4四半期	2014年 第4四半期	増減	2015年通年	2014年通年	増減
純収益	2,232	2,389	(156)	8,911	9,565	(654)
信用リスク引当金繰入額	150	187	(37)	501	622	(121)
利息以外の費用	2,757	2,194	564	11,700	7,753	3,948
非支配持分	0	0	0	1	1	(0)
税引前利益(損失)	(675)	8	(683)	(3,291)	1,189	(4,480)
RWA(単位:十億ユーロ)	80	80	0	80	80	0

## 解説

2015年第4四半期の**PBCの純収益**は、前年同四半期から7%減少し、22億ユーロとなりました。この減少は、華夏銀行に対する投資の評価およびこれに関連する取引に伴う影響を受けたことや、継続的な低金利環境による預金収益の減少によるものですが、クレジット商品からの収益が引き続き伸びたことにより一部相殺されました。

2015年通年の純収益は、2014年から7%減少し、89億ユーロとなりました。華夏銀行に対する保有持ち分の評価およびこれに関連する取引に伴う影響を調整したベースでは、収益は2014年から概ね横ばいでした。

2015年第4四半期の**PBCの利息以外の費用**は、前年同四半期から26%増加し、28億ユーロとなりました。この中には、個人顧客および中堅企業の支店網の再編に関する6億6,900万ユーロの再編および退職費用と、1億3,100万ユーロのソフトウェアの一部償却が含まれています。

## グローバル・トランザクション・バンキング (GTB)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2015年 第4四半期	2014年 第4四半期	増減	2015年通年	2014年通年	増減
純収益	1,175	1,039	136	4,616	4,119	497
信用リスク引当金繰入額	91	42	49	127	156	(29)
利息以外の費用	737	750	(13)	3,050	2,811	239
税引前利益	347	247	99	1,439	1,152	287
RWA(単位:十億ユーロ)	52	43	9	52	43	9

### 解説

2015年第4四半期の**GTBの純収益**は、厳しい市場環境の中にあっても、前年同四半期から13%増加し、12億ユーロを計上しました。この増加は、為替レートのプラスの影響のほか、貿易金融および事業法人向けキャッシュ・マネジメントや金融機関向けキャッシュ・法人信託サービスにおける取引量が堅調であったことによるものです。

2015年通年の純収益は、2014年から12%増加し、46億ユーロを計上しました。

2015年第4四半期の**GTBの利息以外の費用**は、前年同四半期から2%減少し、7億3,700万ユーロとなりました。これは、為替レートのマイナスの影響を受けたものの、当該四半期における訴訟費用および業績連動報酬費用が減少したことを反映したものです。

2015年通年の**GTBの税引前利益**は、2014年から25%増加し、過去最高の14億ユーロを計上しました。

## ドイチェ・アセット&ウェルス・マネジメント (Deutsche AWM)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2015年 第4四半期	2014年 第4四半期	増減	2015年通年	2014年通年	増減
純収益	1,416	1,240	176	5,408	4,704	705
信用リスク引当金繰入額(戻入額)	4	(0)	5	9	(7)	16
利息以外の費用	1,137	878	259	4,149	3,691	459
非支配持分	0	4	(4)	0	4	(4)
税引前利益	274	358	(84)	1,250	1,016	234
RWA(単位:十億ユーロ)	24	17	7	24	17	7

### 解説

2015年第4四半期の**Deutsche AWMの純収益**は、前年同四半期から14%増加し、14億ユーロとなりました。この増加は、2014年および2015年を通じた累計で総額700億ユーロの純資金流入や、アクティブおよびパッシブ商品ならびにオルタナティブ商品に関する事業活動の拡大、ならびに為替レートのプラスの影響を反映したものです。

2015年通年の純収益は、2014年から15%増加し、54億ユーロを計上しました。

2015年第4四半期の**Deutsche AWMの利息以外の費用**は、前年同四半期から30%増加し、11億ユーロとなりました。増加の要因の一部として、2014年第4四半期には8,300万ユーロのコスト減の要因となったスカダーに関する無形資産の評価減の一部戻入れがあったこと、および為替レートの影響があげられます。

2015 年第 4 四半期末現在の **Deutsche AWM の運用資産**は、2014 年第 4 四半期末から 8%増加し、1 兆 1,000 億ユーロとなりました。ドイツ・アセット&ウェルス・マネジメント部門は、7 四半期連続で新規の純資産流入を記録した後、2015 年第 4 四半期は、2014 年第 4 四半期の 100 億ユーロの純流入額とは対照的に 40 億ユーロの純資産の流出となりましたが、2015 年通年の累計では 290 億ユーロの純資金流入となりました。

## 非中核事業部門 (NCOU)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2015年 第4四半期	2014年 第4四半期	増減	2015年通年	2014年通年	増減
純収益	(304)	152	(457)	401	172	229
信用リスク引当金繰入額	19	131	(113)	54	259	(206)
利息以外の費用	840	731	109	3,079	2,813	265
非支配持分	0	(2)	0	1	(2)	3
税引前利益(損失)	(1,163)	(709)	(455)	(2,732)	(2,899)	167
RWA(単位:十億ユーロ)	34	59	(24)	34	59	(24)

### 解説

2015 年第 4 四半期の **NCOU の純収益**は、前年同四半期から 4 億 5,700 万ユーロ減少し、3 億 400 万ユーロの損失となりました。これは主に、時価評価損を反映したものですが、資産の売却からの純収益により一部相殺されました。

2015年通年の純収益は、4億100万ユーロを計上しました。

2015 年第 4 四半期の **NCOU の利息以外の費用**は、前年同四半期から 15%増加し、8 億 4,000 万ユーロとなりましたが、これには 5 億 4,400 万ユーロの訴訟費用も含まれています。訴訟費用を除くと、NCOU の利息以外の費用は、2014 年第 4 四半期における特定の資産に係る一時的な減損が 2015 年第 4 四半期には発生しなかったことを反映して、またザ・コスモポリタン・オブ・ラスベガスを含む資産の売却の影響を受けて、53%の減少となりました。

2015 年第 4 四半期末の **NCOU のリスク・ウェイトド・アセット (RWA)** は、2014 年第 4 四半期末における 590 億ユーロから 41%減少し、340 億ユーロとなりました。これは非中核事業部門が 2015 年第 4 四半期において、リスク・ウェイトド・アセットを約 70 億ユーロ、CRD4 レバレッジ・エクスポージャーを約 180 億ユーロ、削減したことによります。

本リリース記載の数字はすべて暫定的かつ未監査です。2015 年の年次報告書および Form 20-F は 2016 年 3 月 11 日に公表される予定です。

### 添付資料:

本資料は 2015 年第 4 四半期の補足財務データの抜粋です。

2015 年第 4 四半期の中間報告の完全版は <https://www.db.com/4Q2015> より、2015 年第 4 四半期の補足財務データは <http://www.db.com/ir/financial-supplements> より入手可能です。

## ドイツ銀行について

ドイツ銀行は事業法人、各国政府、機関投資家、中小企業、および個人といった顧客に対し、商業銀行、投資銀行、リテール・バンキング、トランザクション・バンキング、および資産運用の商品ならびにサービスを提供しています。ドイツ銀行はドイツ有数の銀行であり、欧州地域に強固な地位を築いているほか、米州およびアジア・太平洋地域においても大規模な事業基盤を有しています。

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、ドイツ銀行の考えや予想、およびその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行グループの経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。従って、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものであって、当グループはこれらの記述に関して、新しい情報や将来生じた事象があっても、これを更新して公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。従って、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果となる可能性があります。これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当グループが収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当グループの経営戦略の実施、当グループのリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性、ならびに米国証券取引委員会（SEC）への情報開示に関連するリスク等が含まれます。このような要因については、SECに提出した当グループの2015年3月20日付年次報告書（Form 20-F）の「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該報告書の写しは、請求により入手可能であり、また [www.db.com/ir](http://www.db.com/ir) からダウンロードすることができます。

## 資料

## ドイツ銀行グループ損益計算書（未監査）

損益計算書				
単位:百万ユーロ	2015年12月31日に 終了した3ヵ月	2014年12月31日に 終了した3ヵ月	2015年通年	2014年通年
利息および類似収益	5,958	6,484	26,012	25,001
利息費用	2,101	2,666	10,130	10,729
<b>純利息収益</b>	<b>3,857</b>	<b>3,818</b>	<b>15,881</b>	<b>14,272</b>
信用リスク引当金繰入額	380	369	956	1,134
<b>信用リスク引当金繰入額控除後の純利息収益</b>	<b>3,477</b>	<b>3,449</b>	<b>14,925</b>	<b>13,138</b>
手数料およびフィー収益	2,930	3,169	12,765	12,409
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産/負債に係る純利得(損失)	(437)	599	3,842	4,299
売却可能金融資産に係る純利得(損失)	(93)	63	203	242
持分法適用投資に係る純利益	286	126	164	619
その他の収益	101	57	669	108
<b>利息以外の収益合計</b>	<b>2,785</b>	<b>4,015</b>	<b>17,644</b>	<b>17,677</b>
給与手当	3,104	2,982	13,293	12,512
一般管理費	5,056	4,030	18,632	14,654
保険業務に係る費用	122	80	256	289
無形資産の減損	6	111	5,776	111
再構築費用	678	7	710	133
<b>利息以外の費用合計</b>	<b>8,967</b>	<b>7,211</b>	<b>38,667</b>	<b>27,699</b>
<b>税引前利益(損失)</b>	<b>(2,704)</b>	<b>253</b>	<b>(6,097)</b>	<b>3,116</b>
法人所得税費用(ベネフィット)	(579)	(189)	675	1,425
<b>純利益(損失)</b>	<b>(2,125)</b>	<b>441</b>	<b>(6,772)</b>	<b>1,691</b>
非支配持分に帰属する純利益(損失)	(5)	4	21	28
ドイツ銀行株主に帰属する純利益(損失)	(2,120)	438	(6,794)	1,663



## 資料

## ドイツ銀行グループ主要財務指標（未監査）

	2015年 第4四半期	2014年 第4四半期	増減 (前年同四半期比)
CRR/CRD4レバレッジ比率（完全適用ベース） <sup>(1)</sup>	3.5%	3.5%	0.0 ppt
CRR/CRD4レバレッジ・エクスポージャー <sup>(1)</sup> 単位：十億ユーロ	1,395	1,445	(3)%
普通株式等 Tier 1 資本比率 <sup>(2)(3)(4)</sup>	11.1%	11.7%	(0.6) ppt
リスク・ウェイトド・アセット <sup>(3)(4)</sup> 単位：十億ユーロ	397	394	1%
税引前平均株主持分合計利益率 <sup>(2)</sup>	(16.8)%	1.5%	(18.3) ppt
税引前平均アクティブ資本利益率 <sup>(2)(5)</sup>	(16.9)%	1.5%	(18.4) ppt
平均株主持分合計利益率（税引後） <sup>(2)</sup>	(13.2)%	2.6%	(15.8) ppt
平均アクティブ資本利益率（税引後） <sup>(2)(5)</sup>	(13.2)%	2.6%	(15.9) ppt
平均有形株主資本利益率（税引後） <sup>(2)(5)</sup>	(15.7)%	3.3%	(19.0) ppt
費用/収益比率 <sup>(2)</sup>	135.0%	92.1%	42.9 ppt
報酬比率 <sup>(2)</sup>	46.7%	38.1%	8.7 ppt
非報酬比率 <sup>(2)</sup>	88.3%	54.0%	34.3 ppt
純収益合計 単位：百万ユーロ	6,642	7,832	(15)%
信用リスク引当金繰入額 単位：百万ユーロ	380	369	3%
利息以外の費用合計 単位：百万ユーロ	8,967	7,211	24%
税引前利益（損失） 単位：百万ユーロ	(2,704)	253	N/M
純利益（損失） 単位：百万ユーロ	(2,125)	441	N/M
資産合計 <sup>(3)</sup> 単位：十億ユーロ	1,626	1,709	(5)%
株主持分合計 <sup>(3)</sup> 単位：十億ユーロ	63	68	(8)%
基本的1株当たり利益	€(1.53)	€0.32	N/M
希薄化後1株当たり利益 <sup>(6)</sup>	€(1.53)	€0.31	N/M
基本的流通株式1株当たり純資産 <sup>(2)</sup>	€45.16	€49.32	(8)%
基本的流通株式1株当たり有形純資産 <sup>(2)</sup>	€37.90	€38.53	(2)%
拠点数 <sup>(3)</sup>	2,790	2,814	(1)%
内、ドイツ国内の拠点数	1,827	1,845	(1)%
従業員数（常勤相当） <sup>(3)</sup>	101,104	98,138	3%
内、ドイツ国内の従業員数	45,757	45,392	1%
ドイツ銀行株式 株価（四半期末） <sup>(7)</sup>	€22.53	€24.99	(10)%
ドイツ銀行株式 高値 <sup>(7)</sup>	€27.98	€28.02	0%
ドイツ銀行株式 安値 <sup>(7)</sup>	€20.69	€22.66	(9)%
長期格付 <sup>(3)</sup>			
ムーディーズ・インベスターズ・サービス	A3	A3	
スタンダード・アンド・プアーズ	BBB+	A	
フィッチ・レーティングス	A-	A+	

- (1) 現行のCRR/CRD4規制（2015年1月17日付EU官報で公表のレバレッジ比率に関する Commission Delegated Regulation (EU) 2015/62 による改定を含む）に基づく。
- (2) 定義については、「Financial Data Supplement 4Q 2015（英文）」の15、16頁を参照のこと。
- (3) 四半期末時点
- (4) リスク・ウェイトド・アセットならびに自己資本比率は CRR/CRD4 完全適用ベースに基づく。
- (5) 平均アクティブ資本の調整については、「Financial Data Supplement 4Q 2015（英文）」の14頁を参照のこと。
- (6) 想定される転換による分子への影響を含む。
- (7) 株価情報の出所：ブルームバーグ（XETRAに基づく。高値および安値は日中取引最高値/最安値）。

\* 本資料に掲載されている数字は四捨五入をしているため、必ずしも合計金額と一致するものではなく、比率も絶対値を正確には反映していません。